

# 資材活用の手引き VER.9.0

(FAQ・印刷価格例含)

希望の虹プロジェクト

「ソーシャルマーケティングを活用したがん検診の普及」事務局

Ver.3.0 : 2016年 7月 1日

Ver.3.1 : 2017年 6月 21日

Ver.4.0 : 2018年 12月 12日

Ver.5.0 : 2019年 7月 9日

Ver.6.0 : 2020年 8月 17日

Ver.7.0 : 2022年 11月 22日

Ver.7.1 : 2023年 3月 27日

Ver.8.0 : 2024年 11月 5日

Ver.8.0 : 2025年 7月 7日

# (重要：必ずお読みください) 資材のご利用にあたって

- **実際に資材を使用することが決まってから**、ホームページよりお申込みください
  - ご不明な点は申請前に事務局までメールにてご確認ください。( [gankenshin@rokproject.jp](mailto:gankenshin@rokproject.jp) )
  - <https://rokproject.jp/>
- 資材ファイルの**可変部分以外の変更、部分使用、サイズ変更はご遠慮ください**
  - 受診勧奨資材として印刷して使うことについてのみ、デザイン等の制作者から許可を得ています。
  - 各イラストや文言は制作者に著作権が帰属しています。
  - 可変部分の変更も実施主体や助成内容・受診期間・対象者、集団検診なのか個別検診なのかといった、自治体によって異なる内容は、修正可能ですが、大幅なレイアウトの変更、イラストの追加は行わないでください。
- 詳細は**P25以降**をご覧ください
- 年度末に効果検証用ファイルにて受診率等のご報告をお願いします
  - 効果検証報告の締め切りは翌年度5月末となります。
  - 自治体内で事業評価のためにもぜひ効果検証を行うことをおすすめします。

# もくじ

- (重要) 資材のご利用にあたってのお願い……………2
- 行動科学やナッジ、ソーシャルマーケティングを活用したがん検診受診勧奨……………7
- 提供しているがん検診受診勧奨用資材…………… 25
- 効果検証結果のまとめと資材利用のポイント……………32
- 資材のご利用にあたって……………33
- 修正可能なページ…………… 35
- お申込み・お問合せ…………… 37
- FAQ よくあるご質問…………… 40
- 参考：資材の仕様と印刷価格例……………51

# 厚生労働省のがん検診事業と連携しています

- 事業評価のためのチェックリスト（平成31年改定版）
  - 各がん種ごとの資材はチェックリスト「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」の全項目を満たしています
- 「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」
- 「今すぐできる受診率向上施策ハンドブック」
- 「受診率向上ハンドブック 明日から使えるナッジ理論」



受診率向上施策ハンドブック  
明日から使える  
ナッジ理論

- “選ばなくていい”は、最強の選択肢
- 簡単にする、簡単にみせる
- 得る喜びよりも、失う痛み
- みんな気になる、みんなの行動
- 約束は守りたくなるのが、人の性
- 狙うのは、心の扉がひらく瞬間

# 指針\*の範囲内の検診(対策型検診)にのみ資料をお使いください

対象臓器	推奨されている 検診方法	対象年齢と 適切な受診間隔	現時点では 推奨されないもの
胃	<b>胃X線または内視鏡検査</b>	50歳以上の男女 2年に1回**	血液検査
子宮頸部	<b>細胞診</b>	20歳以上の女性 2年に1回	HPV検査
乳房	<b>マンモグラフィ</b> (乳房X線)	40歳以上の女性 2年に1回	マンモとエコー(超音波)の併用
肺	<b>胸部X線と</b> 喀痰検査(喫煙者のみ)の併用	40歳以上の男女 1年に1回	CT検査
大腸	<b>便潜血検査</b>	40歳以上の男女 1年に1回	内視鏡検査 CT検査

\* 厚生労働省：がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（平成28年2月4日一部改正）

\*\*「当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に実施可」、「当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可」

## ホームページをご利用ください

「ソーシャルマーケティングを活用したがん検診の普及」プロジェクトホームページ上に各資材のサンプルや手引き、参考資料等を掲載しておりますので、検討にあたってはまずホームページをご参照ください

「がん検診 ソーシャルマーケティング」で検索

\* <https://rokproject.jp/kenshin/>

- ホームページでご提供しているもの
  - 各受診勧奨資材（申請後提供）
  - 資材活用の手引き
  - 効果検証用ファイル
  - 参考資料：より詳しく受診率向上事業評価を行いたい方へ

行動科学やナッジ、ソーシャルマーケティングを活用した  
がん検診受診勧奨

## がん検診受診への働きかけ：視点の変化

がん検診の大切さをわかってもらい、検診を受けてほしい…  
「理解してもらおう」「行動してもらおう」



だけど、個人の努力に委ねるのには限界がある



「がん検診を受ける」という選択をしやすい環境をつくる

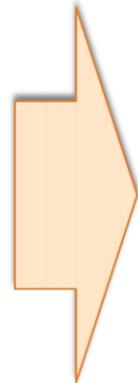


教育的アプローチから、環境的アプローチへ  
行動科学、ナッジ、ソーシャルマーケティングなど新しい手法の活用

## ソーシャルマーケティングとは？

商品等の販売やプロモーションを行う商業マーケティングの手法を  
公衆衛生に取り入れる

未受診者によっても  
受診しない理由はさまざま



＜マーケティングの基本＞

**対象の細分化  
(セグメンテーション) \***

→それぞれの人の気持ちに響く  
メッセージを送らないと  
その行動は変わらない

\* **対象の細分化 (セグメンテーション) :**  
対象者を共通のニーズを持ち、目的とする行動において認識  
や価値観、プロセスなどが似通った集団に分けること。  
セグメンテーションによって分けられたグループをセグメントと呼ぶ。

# 乳がん検診の未受診者の“気持ち”にあわせたメッセージ

未受診者の  
“気持ち”

無関心者  
(がんに無関心な層)

関心者  
(がなが怖くて検診が  
不安な層)

意図者  
(すでに受けようと思っ  
ている層)

“私は絶対に  
大丈夫”



“がなが見つかるのが怖い”



“どうやって受け  
ばいいの?”



伝える  
メッセージ

「乳がんは今や誰も  
が心配すべき問題です」

「早く見つけてしまえば  
乳がんは治ります」

わかりやすく具体的な  
がん検診受診の方法

近年、日本人女性の  
11人に1人が乳がんにかかると言われています。<sup>1)</sup>  
もう他人事とは思えない！乳がんは女性が一生のうちで1番かかりやすいがんです。

乳がんは40~50代女性の  
がん死亡原因ナンバーワン<sup>2)</sup>

日本では、年間に約1万4千人以上の女性が乳がん  
で亡くなっています。40代と50代はとくに  
乳がんにかかりやすい年齢です。

セルフチェック  
だと違いかもー

癌がなくても  
おかしくない  
ですよ



乳がんは早期発見で  
治癒します。<sup>3)</sup>

乳がんは早期に発見して治療すれば95%以上が治癒します。正しい知識を持って、専門の先生と一緒に定期的にチェックしていくことが大切です。

5年相対生存率

早期発見した場合  
(1期)  
100.0%

早期発見  
できなかった場合(IV期)  
34.9%

乳がん検診の流れ

Step 1.

☎ 実施医療機関に直接予約  
以下リストをご覧ください。  
受診曜日や時間帯、女性医師による検診の提供など、  
詳細は各医療機関にお問い合わせの上、  
ご都合にあった医療機関に直接ご予約ください。

Step 2.

🏥 受診 問診/マンモグラフィ  
医療機関で、保険証を提示、受診費用を支払い受診。  
自覚症状等についてお聞きします。  
乳房のレントゲンを撮ります。

Step 3.

📄 結果を確認する\*

# 肺がん検診の未受診者の“気持ち”にあわせたメッセージ

未受診者の  
“気持ち”

喫煙者

非喫煙者

共通

「たばこ＝肺がんは  
聞き飽きた」  
“たばこを  
責められたくない”



「肺がん＝たばこ  
でしょ」  
“肺がんは  
関係ないから”



“今さらレントゲン  
なんかで  
何がわかるの？”



伝える  
メッセージ

たばこには触れずに  
「1年に5分だけください」

「肺がん死の2人にひとり  
はたばこが原因とは  
いえません」

「2人の医師がじっくり調  
べる質の高い検査です」

一年に  
**5分**  
ください。

二人の医師が、  
じっくり診ます。

市の特定健診と一緒に受けられます。

肺がん死の  
2人にひとり、  
たばこが原因とは  
いえません。

たばこを吸わなくても、  
肺がん検診を。

肺がん検診では、  
二重読影が国の基準で  
定められています。”

2人の医師が、別々にチェック。  
胸部レントゲンのフィルムは、  
2人の医師がじっくり調べることになっています。  
これが、肺がんの影を見落とさないために  
国の基準で定められた、二重読影です。”

# がん検診未受診者のインサイトと受診行動に効果的なメッセージ

がん種	未受診者のセグメント	インサイト	効果のあるメッセージ
乳がん <sup>1)</sup> 大腸がん <sup>2)</sup> 子宮頸がん <sup>3)</sup> 胃がん <sup>3)</sup>	無関心者 (受診意図が低く、 がんへの不安が弱い層) 	私は絶対に大丈夫	「がんは今や誰も 心配すべき問題です」
	「関心者」 (受診意図が低く、 がんへの不安が強い層) 	がんが見つかるのが怖い	「早く見つけてしまえば がんは治ります」
	「意図者」 (受診意図が高い層) 	どうやって受ければいいのか？	動作指示 (わかりやすく 具体的ながん検診受診 の方法)
肺がん <sup>3)</sup>	喫煙者 	「たばこ = 肺がん」は聞き飽きた たばこが悪いのはわかってる けど責められたくない	「たばこ」には触れずに検診の有効性を伝える
	非喫煙者 	「肺がん = たばこ」でしょ 非喫煙者には関係ない	「非喫煙者でも肺がんになります」

注1) Harada K et al. Health Commun. 2013;28(7):709-17. Ishikawa Y et al. BMC Public Health. 2012;12:760. より作成

注2) Hirai K et al. BMC Public Health. 2016;16:431. より作成

注3) 個別面接・フォーカスグループより作成。 溝田、山本. 保健師ジャーナル. 2017;73(12):991-9.

# 女性への配慮

(外面)

今年度は、〇〇市より  
0,000円の助成\*が  
あります！

〇〇市在住の40歳以上の女性には、2年に1度、  
約0,000円の助成ができるため、自己負担金  
0,000円で乳がん検診が受けられます。

今年度の助成対象の方

乳がん検診(マンモグラフィ)は助成がない  
場合、一万円を超える高価な検査です。  
ぜひこの機会に受診しましょう。

検査費用 約〇〇〇〇円

- 助成金 約〇〇〇〇円

自己負担金 〇〇〇〇円

※現金が支給されるわけではありません。

今年度の受診期限は

平成00年0月00日

例年、受診期限が近付くと大変混み合います。  
お早めにご予約・ご受診ください。

## 乳がん検診の流れ

### Step 1.

☎ 実施医療機関に直接予約

以下リストをご覧ください。

受診曜日や時間帯、女性医師による検診の提供など、  
詳細は各医療機関にお問い合わせの上、  
ご都合にあった医療機関に直接ご予約ください。

### Step 2.

✚ 受診 問診/マンモグラフィ

医療機関で、保険証を提示、受診費用を支払い受診。  
自覚症状等についてお聞きします。  
乳房のレントゲンを撮ります。

### Step 3.

📄 結果を確認する\*

実施医療機関一覧		
〇〇町	〇〇〇〇医院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇健診クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇総合病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇乳腺クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇医院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇健診クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇総合病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇乳腺クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000

※ 検診は自費検診と、各医療機関が実施して行っています。検診費用の補填は関係機関で共有され、市区町村へも請求されます。また、検診に医師・看護師・放射線技師・検診実施を目的とした場合は検診に要した医療機関にも検診、検診検査結果が共有されます。(関係機関の検診実施内容に依り)

40歳を過ぎたら

(拡大)

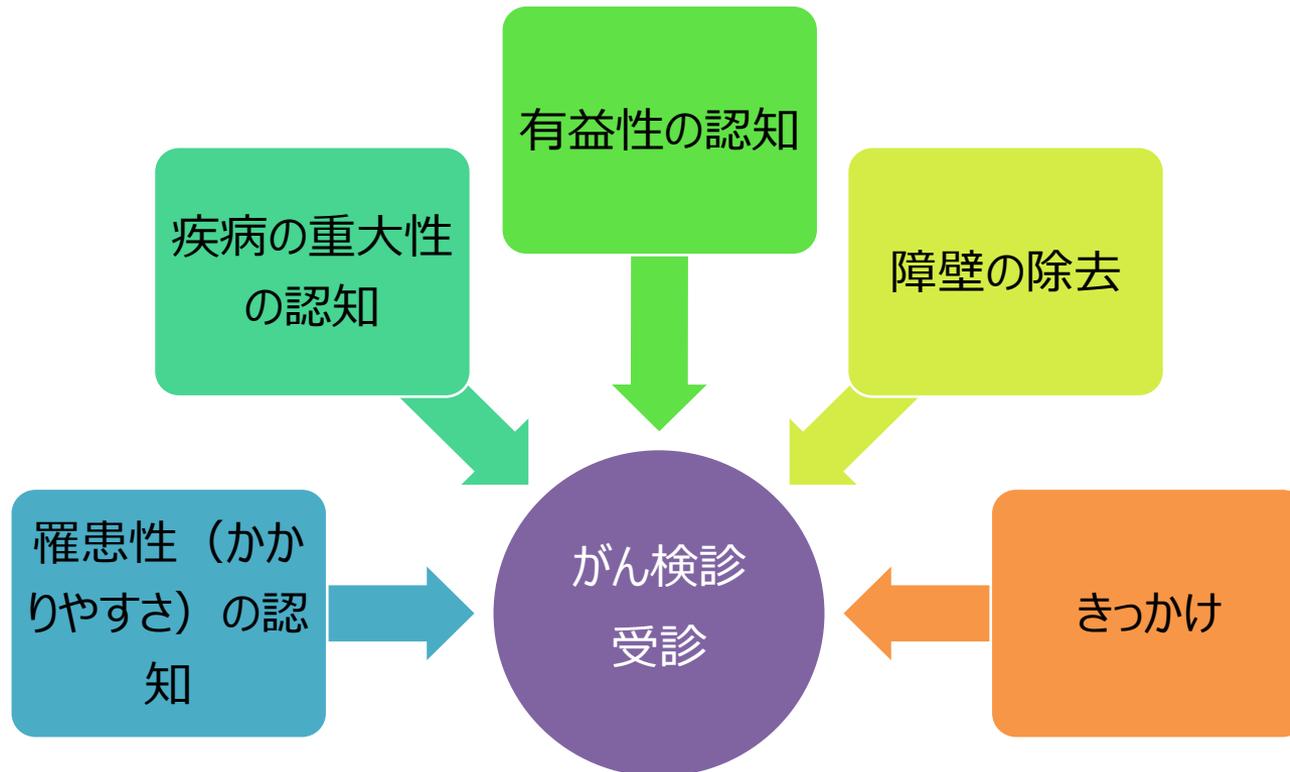
受診曜日や時間帯、**女性医師による検診の提供**など、詳細は各医療機関にお合わせの上、  
ご都合にあった医療機関に直接ご予約ください。



「女性医師に診てもらえる…？」  
⇒乳がん、子宮頸がん検診で  
多くみられる不安に対応

# 行動科学モデル：ヘルスビリーフ・モデル

人々が疾患予防もしくは早期発見のためのプログラムに参加しない理由を明らかにするために考案された概念



## ヘルスブリーフ・モデルに基づくインサイトと伝えるべきメッセージ（がん種共通）

受診行動に影響を与える概念（ヘルスブリーフ・モデルより）	面接調査から明らかになったインサイト	伝えるべきメッセージ
<p>がんとがん検診に関する認知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 罹患性の認知</li> <li>- 重大性の認知</li> <li>- 有益性の認知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分はがんにかからない</li> <li>・まだ先のこと</li> <li>・自覚症状が出てから</li> <li>・一度がん検診を受けたから大丈夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・罹患、死亡についてのデータ（○歳代に多い、○人に1人、○位など）</li> <li>・がんは自覚症状がない</li> <li>・年に1度はがん検診（がん種により2年に1度）</li> </ul>
<p>がん検診受診の障壁</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんが見つかるのが怖い</li> <li>・検査の方法が不安</li> <li>・自治体の検診は質が低いのではないか</li> <li>・女性医師に診てもらえるのか不安（乳がん、子宮頸がん）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期発見による効果（進行度別生存率のデータ、手術の負担の違い）</li> <li>・検査の具体的な方法</li> <li>・本当は高額な検診が安価で受けられる（対象者が実際に支払う金額ではなく、助成金額と検査費用）</li> <li>・予約の際に女性医師による検診の提供の有無を確認できる</li> </ul>
<p>がん検診受診のきっかけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんとなく受けていない</li> <li>・受けないつもりはないけれどきっかけがない</li> <li>・受け方がよくわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作指示（わかりやすく具体的ながん検診受診の方法）</li> <li>・医者からの後押し</li> <li>・*コール・リコール自体もきっかけ</li> </ul>

## ナッジとは？

人々が行動を選択するときのくせ（惰性・バイアスなど）を理解して、  
強制することなく、  
人々が望ましい行動を選択するように導くアプローチ

- 基礎となる概念
  - リバタリアン・パターナリズム（「個人の自由意思を尊重する」+「家父長的な干渉主義」  
→選択の自由を確保した上で、人々の行動を「望ましい」方向へと変化させる介入
- 対象
  - 社会的に合意された「正しい解」が存在するもの
  - 合理的（最適）な判断ができない人を導く  
→公衆衛生政策や保健政策との相性がいい→対策型がん検診

# ナッジのフレームワーク①：EAST 1)

構成要素		アプローチのポイント
Easy	簡単	簡単に楽な行動を選ぶ
Attract	魅力的	言葉や印象、出来事など、魅力的に感じられるものを選ぶ
Social	社会的	多くの人やっていること（社会規範）に影響を受ける
Timely	タイムリー	タイムリーな働きかけに反応しやすい

1) Halpern D (2015). Nudging goes mainstream. Inside the Nudge Unit. WH Allen. PP.38-57.  
 (溝田 訳および改変) 出典：溝田. 第28回がん検診のあり方に関する検討会（2019年5月31日）

## ナッジのフレームワーク② : MINDSPACE 1)2)

構成要素		アプローチのポイント
Messenger	誰から	情報提供者の好き嫌いや権威の有無に影響を受ける
Incentives	インセンティブ	標準的インセンティブ、 <b>損失回避</b> （増えることよりも失うことを避ける）、参照点依存性、双曲型割引など*
Norms	規範	多くの人やっていること（ <b>社会規範</b> ）に影響を受ける →社会規範をつくる
Defaults	デフォルト	<b>デフォルト</b> （あらかじめセットされたもの）に従う オプトインからオプトアウトへ
Salience	顕著性	目立つもの、魅力的なもの、新しいもの、自分に関係があるものに惹かれる**
Priming	プライミング	<b>事前に見たり聞いたりしたもの</b> が行動のきっかけになる***
Affect	感情	言葉や印象、出来事などに対する <b>感情的な反応</b> が意思決定に大きな影響を与える
Commitment	コミットメント	<b>内外への宣言・公約</b> に従おうとする（書面に書くなども）
Ego	エゴ	自分自身の気分がよくなる方向に行動する

\*参照点依存性：意思決定のもとになる価値を、特定の状態(参照点)からの変化によって決める傾向。現状、社会規範、将来などが参照点となりうる。

双曲型割引：将来得られるベネフィット（満足）を心理的な要因によって割り引く。（例 1年後の2万円よりも今日手に入る1万円）

\*\*セイリアンスバイアス：目立つ部分にばかり目がいく

\*\*\*プライミング効果：事前にあるものを見聞きしておく、別のことが思い出しやすくなったり、覚えやすくなる

- 1) Institute for Government (2010). MINDSPACE Influencing behavior through public policy.
- 2) Halpern D (2015). Nudging goes mainstream. Inside the Nudge Unit. WH Allen. PP.38-57.  
(溝田 訳および改変) 出典：溝田. 第28回がん検診のあり方に関する検討会 (2019年5月31日)

# 「インセンティブ(お得感)」と「損失回避」の利用

- 「お得感」には納得できる根拠が必要  
→今年度は〇〇市から補助があるから「今なら安く受けられる」
- 失うことを嫌がる「今このタイミングを逃すと…」
- タイムリーな働きかけ

今年度は、〇〇市より  
0,000円の助成\*があります！

〇〇市在住の40歳以上の女性には、2年に1度、約0,000円の助成がでるため、自己負担金0,000円で乳がん検診が受けられます。

今年度の助成対象の方

乳がん検診(マンモグラフィ)は助成がない場合、一万円を超える高価な検査です。ぜひこの機会に受診しましょう。

検査費用	約〇〇〇〇円
- 助成金	約〇〇〇〇円
自己負担金	〇〇〇〇円

\*現金が支給されるわけではありません。

今年度の受診期限は

平成00年0月00日

例年、受診期限が近付くと大変混みます。お早めにご予約・ご受診ください。

「0円で受けられます」だけではなく、「自治体から10,000円の助成があります」とすることで、**本当は高価な価値のある検診が今なら安く受けられる**というお得感を強調  
⇒「安かろう悪かろう」ではない



## 「みんなも受けている(社会規範)」の利用

- 「毎年、受診期限が近づくと大変混み合います。お早めにご予約・ご受診ください」

←「みんなも受けている」

- 「〇〇市在住の40歳以上の女性には…助成がでます」

←「自分だけ受けないと損！」

今年度は、〇〇市より  
0,000円の助成\*が  
あります！

〇〇市在住の40歳以上の女性には、2年に1度、約0,000円の助成ができるため、自己負担金0,000円で乳がん検診が受けられます。

今年度の助成対象の方

乳がん検診(マンモグラフィ)は助成がない場合、一万円を超える高価な検査です。ぜひこの機会に受診しましょう。

検査費用	約〇〇〇〇円
- 助成金	約〇〇〇〇円
自己負担金	〇〇〇〇円

\*現金が支給されるわけではありません。

今年度の受診期限は

平成00年0月00日

例年、受診期限が近付くと大変混み合います。  
お早めにご予約・ご受診ください。

# 「情報提供者のオフィシャルさ(メッセンジャー)」の利用

- オフィシャルなところ（行政）からの案内であることを強調  
 「〇〇市からのお知らせ」  
 「このリーフレットは国立がん研究センターが作成しました」
- デザインやフォントを読みやすく親しみやすく、だけどくだけすぎない



## その他、ナッジを活用した運用の工夫（1）

### <選択肢を広げすぎない>

- 集団検診や土曜検診の日程について、ある程度日程を絞る（対象者の分散も兼ねる）  
「いつでも受けられる」→後回しに
- 受診期間、予約期間を区切る
  - － 受診勧奨の対象者を分けて年数回実施するなど
  - － 予約の集中を避けるためにも

### <コミット(宣言)の利用>

- 申込み時に受診予定を自分で書き入れてもらう
- 職場や家族に受診日を伝える

### <タイムリー>

- 節目年齢、引越し、結婚、出産、定年退職（職場の健康組合から国保に変わる）等
  - － それぞれの人にとって節目となるタイミングに重点的にアプローチ
- 他の疾患での受診時などに声かけ
  - － かかりつけ医
  - － 健康づくり推進員等の活用も
- 啓発イベントやキャンペーンを単発で終わらせず、連動して「その場で申し込めるように」

## その他、ナッジを活用した運用の工夫（2）

### <デフォルトの利用>

- 健康診断受診時にがん検診をセットで受けられる場合などを活用
- 申込み用紙でまとめて申込み
- **シンプルに**

健康診断時に「オプションで申し込む」ことを強調するのではなく、「セット受診であること」を強調

\* **デフォルトは「受ける」**として、いつにするかなどを選択



### 肝炎ウイルス検査のお知らせ

肝がんの原因の80%は  
**肝炎ウイルスです**

肝炎ウイルスの有無は  
簡単な血液検査だけ  
 で分かります

ウイルスを見つけて薬でウイルスを  
 コントロールすれば肝がん予防につながります

今回の健康診断で同時に受けられますので、  
申し込みをお願いします。

今年度は、〇〇市の助成により検査費7,500円が無料です

〇〇市 健康福祉部 健康増進課  
このチラシは国立がん研究センター-健康社会科学研究室が作成しました。

提供しているがん検診受診勧奨用資材

# 提供可能ながん検診受診勧奨用資材

## コール用リーフレット (年度始めに一斉送付) — 五がん検診



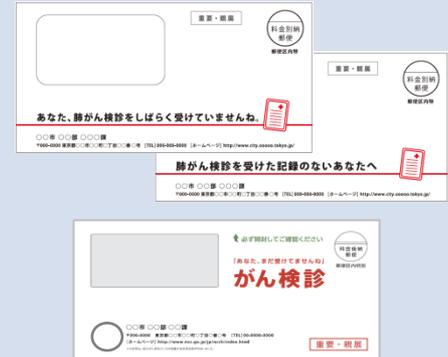
## リコール用リーフレット (未受診者へ送付) 大腸、乳、子宮頸、胃、肺がん



## 圧着はがき 大腸、乳、子宮頸、胃、肺がん



## リーフレット送付用 定型封筒



## 精密検査リーフレット

The image shows four leaflets related to precision medical examinations (精密検査):

- Leaflet 1 (Top Left):** Focuses on colorectal cancer (大腸がん). It states that you have a possibility of colorectal cancer and that a diagnosis was confirmed. It mentions that for every 3 people, 1 person has colorectal cancer and that early detection leads to a 90% cure rate.
- Leaflet 2 (Top Right):** Focuses on liver cancer (肝臓がん). It states that you have a possibility of liver cancer and that a diagnosis was confirmed. It mentions that liver cancer is the leading cause of death and that early detection leads to a 90% cure rate.
- Leaflet 3 (Bottom Left):** Focuses on early-stage cancer (早期のがん). It states that early-stage cancer or polyps can be removed simultaneously with a precision examination (大腸内視鏡検査). It mentions that a diagnosis was confirmed and that early detection leads to a 90% cure rate.
- Leaflet 4 (Bottom Right):** Focuses on the possibility of colorectal cancer (大腸がんの可能性). It states that a precision examination is necessary to find out if there is a possibility. It mentions that early detection leads to a 95% cure rate and that a precision examination is necessary.

## 肝炎検査リーフレット

The image shows a leaflet about hepatitis virus testing (肝炎検査):

- Top Section:** States that you should get a hepatitis virus test once in your life (一生に一度). It includes a diagram of the liver.
- Middle Section:** States that you have a possibility of being infected with hepatitis virus (あなたも肝炎ウイルスに感染している可能性があります).
- Bottom Section:** States that the main cause of liver cancer is hepatitis virus (肝がんの原因の約80%は、肝炎ウイルスです).

## 禁煙外来用リーフレット

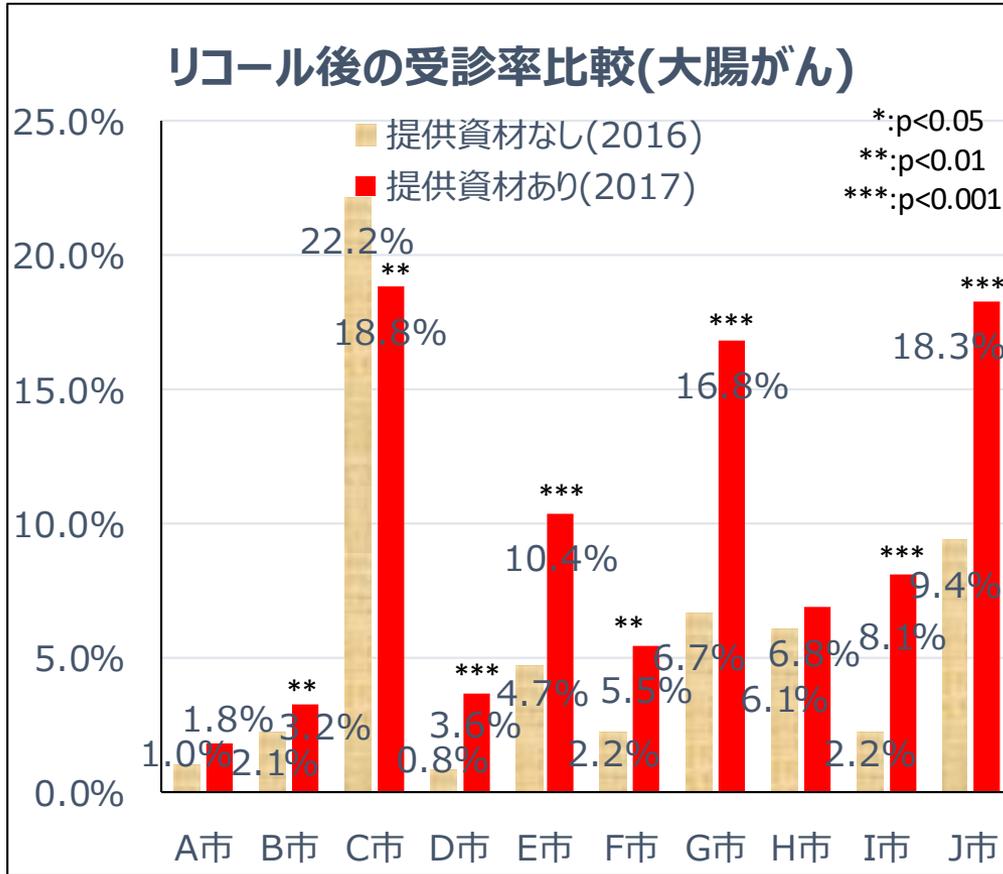
The image shows a leaflet about smoking cessation (禁煙外来用リーフレット). The text on the leaflet is: 禁煙のつらくない方法 (Easy way to quit smoking).

## セット受診用チラシ 肺・胃・大腸がん

The image shows a flyer for a set of cancer examinations (セット受診用チラシ):

- Top Section:** States that if you get the set, it's a great deal (どうせ受けるならセットでお得!!!).
- Middle Section:** States that lung, stomach, and colorectal cancer examinations are available for 3,000 yen per day (肺・胃・大腸の3つのがん検診が、一日で受診できて3,000円!!).
- Bottom Section:** States that the cost is 70% off (通常70%OFFが負担!).
- Bottom Text:** States that this is a great opportunity to get cancer examinations (この機会に是非がん検診を受診してください).

# 2017年度の効果検証結果（大腸がん）



介入群のみ  
受診経験の  
ない者

### 〇〇市より 約0,000円の助成があります。

大腸がん検診(便検査)は個人診療の場合、4千円程かかる検査ですが、40歳以上の方(昭和44年×月×日までに生まれた方)が市の検診を受けると、市から約x,xxx円の助成を受けていることになります。(自己負担xxx円)

検査費用 約〇〇〇〇円

助成金 ー約〇〇〇〇円

自己負担金 〇〇〇〇円

※助成が受けられる日でありません。

今年度の受診期限は、**令和00年00月00日**

〇〇市 健康福祉部 〇〇〇〇課  
 〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0  
 TEL 000-0000-0000 FAX 000-0000-0000

#### 大腸がん検診の流れ

1. 受診場所を選ぶ  
同科の医療機関リストからお選びください。
2. 医療機関に検査容器と問診票を取りに行く
3. 自宅で便を2日間採取
4. 検査容器と問診票を医療機関に提出
5. 検査の結果\*  
約2~3週間程で結果が出ます。検査結果を確認してください。  
\*「異常な結果」という結果が出た場合は、必ず医師検診で医師の診察を受けてください。検査結果の第一選択は必ず医師検診です。

大事なこと  
お知らせ  
大腸がん  
検診の  
お知らせ  
大事なこと  
必ず受けてください

### 専門医に聞きました。大腸がんについて、3つのポイント

**POINT 01 「早く見つけて、早く治す」**  
 ことが大切。早期のうちに治療すれば**95%以上**が治癒します。  
 大腸がんは、早期で見れば、多くの場合費用の少ない内視鏡での手術で治療が可能です。入院は2~3日、または必要のない方もいます。大腸がんの発見と治療は、早ければ早いほど負担は少なくなります。しかし、進行してがんが深くなるに連れて治療の負担が増え、生存率は大きく下がってしまいます。

早期発見 99.1%  
 進行がん 22.9%

**POINT 02 「自宅で簡単にできる」**  
 大腸がん検診は「便検査」です。大腸がん検診は自宅で簡単にできる「便検査」です。内視鏡ではないですよ。  
 「大腸がん検診って、お尻からメスを入れるやつでしょ」と誤解している方もいます。最新の便検査は自宅で簡単にできる検便です。トイレで便を2日間採取して「医療機関」に提出するだけ。自宅で検便が受けられるのは、検査の負担が少なく、医療機関で内視鏡の検査をするより安全です。

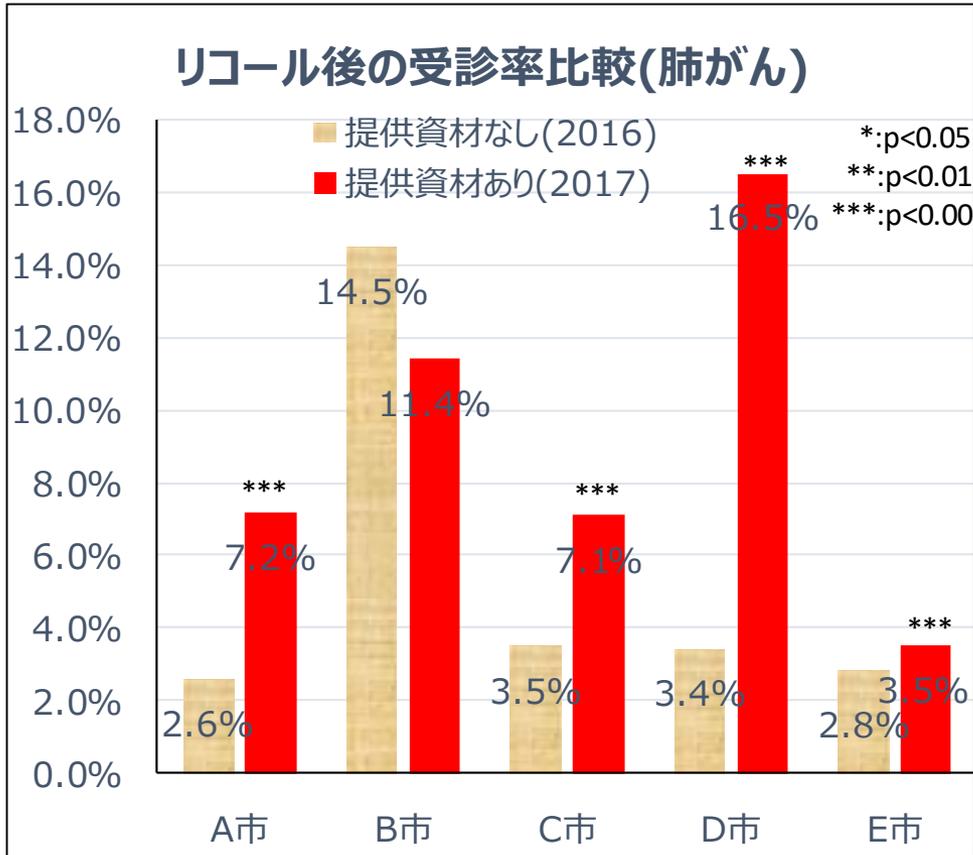
**POINT 03 ほとんどの大腸がんは早期のうち**  
**「自覚症状がありません」**  
 みなさん「血便がでたら」か「異常を感じたら」病院に行こうとおっしゃるんですが、大腸がんは、早期には**自覚症状がありません**。日本では毎年約15万人が大腸がんにかかり、5万人が命を落とされています。早期には自覚症状がないので「異常を感じたら」では、手遅れになる場合があります。検診は毎年定期的に受けてください。もちろん、血便、腹痛、便の性状が変化したなど、症状がある場合は次の検診を待たずに病院に行きましょう。

出典：溝田. 第28回がん検診のあり方に関する検討会（2019年5月31日）

注）提供資材あり（2017年度）と資材なし（2016年度）のリコール後の受診率の比較  
 $\chi^2$ 検定 \* :  $p < 0.05$ , \*\* :  $p < 0.01$ , \*\*\* :  $p < 0.001$

# 2017年度の効果検証結果（肺がん）

## リコール後の受診率比較(肺がん)



リコール時期の違い

肺がん検診では、二重肺影が国の基準で定められています。

2人の医師が、別々にチェック。肺野レントゲンでのフィルムは、2人の医師がじっくり調べることになっています。これが、肺がんの影を見落とさないために国の基準で定められた、二重検診です。

〇〇市から肺がん検診のお知らせ

肺がん死の2人にひとりとは、たばこが原因とはいえません。

たばこを吸わなくても、肺がん検診を。

自己負担は1,000円です。

〇〇市から肺がん検診のお知らせ

一年に5分ください。

二人の医師が、じっくり診ます。

市の特定健診と一緒に受けられます。

初期には自覚症状がほとんどないのが、肺がんの怖さです。

とくに肺の奥にできるがんほど、咳や痰などの症状が当てにくく、気づかぬうちに増殖します。本人の自覚がないまま、検査で発見されるケースがほとんどです。

早期に発見すれば、生存率が高いがんです。

早期に発見した割合(1)の2.6倍 81%

早期に発見できた割合(2)の5倍 5%

早期に発見するために、自覚症状がなくても検診を受けることを強くお勧めします。

肺がんは、死亡数が男女合わせていちばん多いがんです。

男性の死亡数 第1位

女性の死亡数 第2位

肺がん死の原因

喫煙者でも受動喫煙者でもありません。

女性だけで一歩先を踏み出すために、受診率を上げたい。

63%

### 検診の流れ

1. 受診場所・受診日を選ぶ  
用紙の一覧表をご覧ください。
2. 受診  
自己負担金0,000円を支払い受診してください。  
■ 受診内容  
・胸部 X線レントゲン撮影  
・聴診(お二人)聴診器(聴診により必要な方のみ)
3. 結果  
検診後3週間後に自宅に郵送されます。

■ 対象者：〇〇市在住の40歳以上の方  
■ 受診期間：平成26年〇月〇日～平成26年〇月〇日まで

肺がん検診は個人診断の場合5,000円程度かかりますが、市から郵送されるため、自己負担金0,000円で受診できます。

検査費用 約0,000円  
一応検金 約0,000円  
自己負担金 0,000円

出典：溝田. 第28回がん検診のあり方に関する検討会（2019年5月31日）

注) 提供資材あり(2017年度)と資材なし(2016年度)のリコール後の受診率の比較  
χ<sup>2</sup>検定 \* : p<0.05, \*\* : p<0.01, \*\*\* : p<0.001





## 効果検証結果のまとめと資材利用のポイント

### ● 効果検証結果のまとめ

- 提供している資材を用い、検診実施体制を整えることにより、コール・リコールにより、数～5倍程度の受診率向上が可能

### ● 資材利用のポイントー成功・失敗の要因からー

- 紙の大きさなど資材の仕様を変えずにそのまま使う
- コール・リコールに合わせ、**集団検診や個別検診の受け皿を十分に確保**しておくことが必要（断ることがないように、日程、人数など確保する）
- まったく受けるつもりのない「無関心者」よりも、「関心者」や「意図者」のほうが受診率を上げやすい  
⇒ 予算が限られる場合は、まったく音沙汰のない人よりも、一度申し込んだものの受診していない人などを優先したほうが効果が出やすい)
- 検診の案内を受け取ったら**すぐに申し込める体制**が必要（日を空けないで受付）
- 一度の通知の効果は3か月程度  
⇒ **一年に何度も受診の山をつくる**と効果的（コール、リコール、年度の締切間際など）

資材のご利用にあたって

## 可変部分（次項）以外の改変や一部利用はご遠慮ください

- リーフレットや圧着はがき、封筒はデザインや文字の大きさと配置なども含めトータルで制作し、効果検証を行っているため、**改編や一部利用は行わず、そのままお使いください。**
- そのまま使用することを条件に、デザイン等の制作者から許可を得ています。
- 各イラストや文言は制作者に著作権が帰属しているため、別の形で切り出しての使用はご遠慮ください

# 修正可能なページ（各がん種共通）

今年度は、〇〇市より  
0,000円の助成が  
あります！

〇〇市在住の40歳以上の女性には、2年に1度、  
約0,000円の助成ができるため、自己負担金  
0,000円で乳がん検診が受けられます。

今年度の助成対象の方

乳がん検診（マンモグラフィ）は助成がない  
場合、一万円を超える高価な検査です。  
ぜひこの機会に受診しましょう。

検査費用	約〇〇〇〇円
- 助成金	約〇〇〇〇円
自己負担金	〇〇〇〇円

※4 現金が支給されるわけではありません。

今年度の受診期限は  
平成〇〇年〇月〇〇日

例年、受診期限が近付くと大変混みます。  
お早めにご予約・ご受診ください。

## 乳がん検診の流れ

**Step 1.**  
📞 実施医療機関に直接予約  
以下リストをご覧ください。  
受診曜日や時間帯、女性医師による検診の提供など、  
詳細は各医療機関にお問い合わせの上、  
ご都合にあった医療機関に直接ご予約ください。

**Step 2.**  
🏥 受診 問診/マンモグラフィ  
医療機関で、保険証を提示・受診費用を支払い受診。  
自覚症状等についてお聞きします。  
乳房のレントゲンを撮ります。

**Step 3.**  
📄 結果を確認する

実施医療機関一覧		
〇〇町	〇〇〇〇病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇検診クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇総合病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇乳腺クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇総合病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇乳腺クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇検診クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇総合病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇乳腺クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇病院	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000
〇〇町	〇〇〇〇クリニック	000-0000

- 表紙の自治体名
- 裏面の検診の流れ・費用・対象など
  - 実施主体や助成内容・受診期間・対象者、集団検診なのか個別検診なのかといった、自治体によって異なる内容は、修正可能です。
  - QRコードの追加も可能です
  - 大幅なレイアウトの変更、イラストの追加は行わないでください。
  - 可変部分以外の変更や、部分使用、サイズ変更はご遠慮ください
  - 詳細は各資料の「編集可能箇所」をご覧ください

# コール用五がん検診リーフレット - 「がん検診の種類」 (1 ページ目) について -



ご提供する資料の表紙は、「国が推奨するがん検診の種類」について記載しています。

【市区町村・企業等の方】  
変更可能としていますので、「〇〇市のがん検診の種類」として、各市区町村等のがん検診の説明を記載してください。

【都道府県の方】  
都道府県が都道府県内の市区町村の情報をまとめて載せる際には、表紙はこのまま「国が推奨するがん検診の種類」として、4 ページ目の自由記載ページに市区町村の連絡先リストを掲載するなどしてご活用ください。

〇〇〇市を変更してお使いください。

# コール用五がん検診リーフレット －自由記載ページ（4ページ目）に記載すべき事項－

コール用の五がん検診リーフレットの4ページ目は各自治体で自由に編集いただけるページとしました。下記①～③について記載してください。別紙にまとめて同封いただくのでもかまいません。自治体の実情に合わせたわかりやすい資料を作成し、住民が自ら調べなくても、案内の記載内容のみで検診にいけるようにしてください。

## ①申し込み先

### 記載すべき事項

- 連絡先
- 連絡方法（電話、FAX等）
- 受付の曜日、時間

### ポイント

- \* はじめにどこに連絡をすれば受診の申し込みができるかを記載します。
- \* 案内を見てすぐ申込みできる体制にしましょう。（時間があいてしまうと申し込む気持ちさがされてしまいます）

## ②検診の流れ

### 記載すべき事項

- 申し込み方法
- 受診の内容
- 結果確認の方法（郵便、診察等）
- 追加検査が必要な場合の流れ

### ポイント

- \* 予約から結果確認の方法までを具体的に記載します。
- \* 「受診の内容」は、受診場所・服装の指定・持参するものなどあれば記載してください。
- \* 受診方法は自治体の取り組みに合わせて資料を作成してください。
- \* なお、「個別検診」「集団検診」は住民にとっては聞きなれない言葉なのでなるべく避け、具体的な方法を書きましょう。

## ③受診できる医療機関リスト

### 記載すべき事項

- 医療機関の名前、場所、連絡先、受付時間



お申込み・お問い合わせ

## 資材ファイルのお申込み

- プロジェクトホームページの「受診勧奨資材」より、必要事項をすべて入力の上  
ご申請ください。
- 資材のファイルはすべて無料でご提供します。  
※ご提供するののは資材の電子ファイルのみです、印刷は各自治体で行ってくだ  
さい。

### ■ 申し込み手順 ■

#### 市区町村ご担当者様

⇒HPより申請

#### その他（企業のがん検診ご担当者様等）

⇒HPより申請

## 資材ファイルのお問い合わせ

市区町村ご担当者様より、事務局の下記アドレスに直接お問い合わせください。  
お問い合わせには、すぐにお返事できない場合がございます。

5 営業日以上経過しても返信がない場合はお手数ですが再度ご連絡ください。

※がん検診に関する情報共有のために、都道府県のご担当者様のアドレスもCC  
に追加いただきますよう、よろしく願いいたします。

お問合せの前に、Topページ上部の「[ご利用希望の方](#)」、本活用の手引き、「[お問  
合せ](#)」をご一読ください。

### お問い合わせ先

静岡社会健康医学大学院大学

「ソーシャルマーケティングを活用したがん検診の普及」事務局

**事務局アドレス : [gankenshin@rokproject.jp](mailto:gankenshin@rokproject.jp)**

\* お電話によるお問い合わせはお受けすることができません

## FAQ よくあるご質問

Q	A
<p>・資材ファイルを受け取る流れを教えてください</p>	<p>①市区町村ご担当者様、企業のがん検診ご担当者様が、プロジェクトホームページより必要事項をすべて入力の上、申請してください。</p> <p>②申請承認メールが届きます。（当日から2営業日以内）承認メールが届かない場合は、迷惑メールとして処理されていないかご確認ください。</p> <p>③メールに記載のURLより、ファイルをダウンロードし、ご利用ください。</p> <p>※ダウンロード期限は<b>90日間</b>になりますので、お早めにダウンロードしてください。</p>
<p>申込の締め切りはあるのか</p>	<p>・通年提供の資材ですので締め切りは設けておりません。市区町村での使用時期に合わせてお申し込みください。</p>

Q	A
<p>・ファイルの利用にあたり費用がかかるのか</p>	<p>・ファイルはすべて無料でご提供しております。印刷費用については各自治体でご負担ください。</p> <p>※印刷物での提供ではありませんのでご注意ください。</p>
<p>・利用を検討するためにファイルがほしい</p>	<p>・各資材のサンプルのPDFファイルはプロジェクトホームページ「受診勧奨資材」に掲載しておりますのでそちらをご参照ください。</p> <p>・印刷に用いるファイルは、申請後に提供します。</p> <p>・また、効果検証に用いるファイルもホームページからダウンロードできますので、ご参照ください。</p>
<p>・申請後、利用を取りやめる場合はどのような手続きをすればいいのか</p>	<p>・申請後に資材の利用を取りやめる場合は、事務局にご連絡ください。</p> <p>申請の際は事前に十分ご検討いただいたうえで、申請いただけますようお願いいたします。</p>

Q	A
<p>・資材のファイル形式はどのようなものか</p>	<p>各資材によって提供ファイルが異なりますのでご注意ください。提供ファイルは各資材申し込みページにございますのでご確認ください。</p> <p>下記電子ファイルの3種類、またはいずれか1種のご提供となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①アドビ社のイラストレーターファイル</li> <li>②PDFファイル</li> <li>③パワーポイントファイル</li> </ul>
<p>ダウンロードできない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダウンロードできない場合は、印刷会社に、〈ダウンロードリンク〉のURLを送付して直接ダウンロードを依頼してください。</li> <li>・ダウンロードリンクが切れてしまった場合は、お手数ですが再度申請をお願いします。</li> </ul>

Q	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストレーターファイルが開けない</li> <li>・開いたデータが正しくない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷用のイラストレーターファイルはイラストレーター（有料ソフト）が入っていないと正常に開けません。</li> <li>・編集は印刷業者に依頼することをおすすめします。</li> <li>* 印刷会社にデータを渡す際に、&lt;ダウンロードリンク&gt;のURLを送付して開くことができる場合もございますので、あらかじめご確認ください。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットや圧着はがきの中で、編集可能な部分はどこか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編集が可能なページにつきましては、HPの「受診勧奨資材」の各資材「編集可能箇所」をご参照ください。</li> <li>・修正可能な内容は、「表紙の自治体名」、「裏面の検診の流れ・費用・対象」など、実施主体や助成内容・受診期間・対象者、集団検診なのか個別検診なのかといった、自治体によって異なる内容です。</li> <li>詳細はこちらの「活用の手引き」P34,5をご参照ください。</li> </ul>

Q	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷する紙質に推奨はありますか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推奨する紙質は、5 がんリーフレット：マットポスト180k、各種リーフレット：マットコート135k、圧着はがき：圧着紙130ミクロン程度（光沢、艶消しどちらでも可）、セット受診チラシ：上質紙70k（通常コピー用紙も可）です。</li> <li>・圧着はがき作成の際は、印刷会社にご相談の上、使用する紙の種類等で、用紙斤量の上限を超えることがないようにご注意ください（郵便はがきとして送れる重さ等、ご確認ください）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙のサイズを変更したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用紙のサイズは変更しないでください。対象者の年齢も考慮し、紙のサイズに最適な文字の大きさ・レイアウトになっています。</li> <li>・定型はがきサイズの範囲内であれば、数ミリの違いは問いません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材の一部を切り出して、市区町村独自のリーフレットに使用したい</li> <li>・リーフレットのページを増加させたい</li> <li>・リーフレットの折り方を変更したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診勧奨資材として、提供している様式にて印刷して使うことについてのみ、デザイン等の制作者から許可を得ています。各イラストや文言は制作者に著作権が帰属していません。</li> <li>・別の形で切り出しての使用や、サイズや仕様を変更するなど変更可能な部分以外の変更はご遠慮ください。</li> <li>・ただし、リーフレットで使用している情報そのものは公開データに基づいているため、そちらをご参照いただくことをお止めするものではございません。</li> </ul>

Q	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・胃がん検診の指針改訂への対応はどのようになっているのか</li> <li>・改訂後の指針では胃がん検診は「50歳以上」「2年に1回」となっているが、まだX線は40歳代に年1回の提供としているので、受診方法の記載をそのように変更してもいいか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指針改訂に対応し、胃がんリーフレットをX線バージョンと内視鏡バージョンの2種類ご提供しています。</li> <li>・X線については、指針でも「当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に実施可」、「当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可」との記載がありますので、当面はそのように変更していただいてもかまいません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットに記載されている対象年齢を変更したい</li> <li>・乳がん、子宮頸がん検診を1年に1回受診できる体制となっているので、受診間隔を「1年に1回」という表記に変更したい</li> </ul>	<p>本事業による資材のご提供は、指針に沿ったがん死亡の減少に資する検診の受診率向上を目的としているため、“がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針”に沿わない形でのご変更は、ご遠慮ください。</p>

Q	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全戸回覧でリーフレット・圧着はがきを使用したい</li> <li>・講演会などでリーフレット・圧着はがきを配布したい</li> <li>・内容を変更は行わないが、ポスターとして使いたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材は、個別通知（対象者本人宛にリーフレット・圧着はがきが届く）を想定して作成しており、個別通知による受診率向上効果を検証した上でご提供しています。</li> <li>・全戸回覧やポスター等で使用する場合は、お申込みの際にその旨を申請書にご記載ください。ただし、受診率向上効果を保証できませんので、可能な限り個別通知での活用をおすすめいたします。</li> <li>・どうしても個別通知が困難である場合には、内容、サイズなどの改変を伴わない利用については制限しませんが、効果的な受診勧奨のためには、なるべく個別通知に近い形での実施をご検討いただければと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コールのみ、あるいはリコールのみの実施でリーフレット・圧着はがきを利用したい</li> <li>・未受診者へ送付する「リコール用リーフレット・圧着はがき」を、コール用として活用したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のみならず世界でも、個別通知によるコール・リコールが有効な受診勧奨方法として推奨されていますので、できるだけコール・リコールの両方を行っていただくことをおすすめします。コールだけまたはリコールだけの使用も可能です。</li> <li>・コール用、リコール用資材はともにその目的での使用を前提に開発し、効果検証を行っていますが、可変部分のみ変更を行い、リコール用資材をコール用に使用したり、コール用資材をリコールに使っていただいてもかまいません。</li> </ul>

Q	A
<p>・リーフレット送付の際に、他のお知らせや別紙資料を同封したい</p>	<p>・リーフレット送付の際に同封物を追加することは可能ですが、情報量が多くなると大切な情報が伝わりづらくなるため、送付物は最小限とし、1回の通知には1つの情報だけ伝えるようにすることを強くおすすめします。</p>
<p>・以前提供されたファイルを、翌年度以降も申請を行わずそのまま使ってもいいか</p>	<p>・各年度ごとに申請書をもとに利用状況の集計を行い、事業報告を行っていますので、必ず毎回申請を行ってください。</p> <p>・資材の提供を継続するため、ご協力をお願いします。</p> <p>・各資材は定期的に内容やデータを更新しております。</p>

Q	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果検証を行わないといけないのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果検証結果の報告は資材の利用条件となります。</li> <li>・本事業の継続のために、事業評価が必要となります。そのため、利用自治体における効果検証結果の報告が必要となりますので、ご協力をお願いします。</li> <li>・自治体における事業評価のためにも、効果検証を行うことを強くおすすめします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果検証はどのようなことを行えばいいのか</li> </ul>	<p>事業効果検証用のファイルは「受診勧奨資材」ページに掲載しておりますので、そちらでご確認ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より詳しい効果検証をやってみたい</li> <li>・有意差の検定をやってみたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より詳細な効果検証を行いたい方は、プロジェクトホームページ上の「参考資料：より詳しく受診率向上事業評価を行いたい方へ」に事業評価支援マニュアルと入力用シートをご提供していますので、ご活用ください。</li> <li>・入力用シートに必要な数値を入れると、グラフや有意差検定の結果が自動で表示されます。</li> <li>・こちらの効果検証につきましては必須ではありません。</li> </ul>

Q	A
<p>・市区町村から事務局へ、直接問い合わせをしたい</p>	<p>HPの「お問合せ」にある事務局のアドレスにお問い合わせください。          これまでは都道府県ご担当者を通してお問合せいただいたおりましたが、多くの自治体で、お問合せなしでご利用いただけるようになりましたので、現在市区町村からの直接のお問合せに変更いたしました。          お問い合わせには、すぐにお返事できない場合がございます。          5 営業日以上経過しても返信がない場合はお手数ですが再度ご連絡ください。          なお、お電話によるお問い合わせはお受けすることができません。          ※お問い合わせの際は、がん検診に関する情報共有のために、都道府県のご担当者様のアドレスもCCに追加いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>
<p>・研修会・講演会を依頼したい</p>	<p>・事務局では、都道府県主催による市区町村研修会等に出向き、資材の紹介を行うことをお引き受けしており、これまで20以上の都道府県で説明会を行ってきました。資材の説明会を希望される都道府県のご担当の方は事務局メールアドレスにご連絡ください。</p>
<p>・テレビ等とのがん検診受診勧奨企画や、はがきなどの印刷物提供の予定はあるか</p>	<p>・現時点で、テレビ等との連動企画や印刷物の提供の予定はありません。企画があれば別途ご案内させていただきます。          ・またがん検診に関する放送予定などにつきましては、今後も情報提供させていただく予定です。</p>